



TITLE:

「京都大学欧文雑誌総合目録 自然科学編1979年版」刊行される

AUTHOR(S):

CITATION:

「京都大学欧文雑誌総合目録 自然科学編1979年版」刊行される. 静脩
1980, 16(3): 8-8

ISSUE DATE:

1980-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36863>

RIGHT:

は16,975人、利用冊数は55,972冊である。利用者の内訳をみると国内はもとより海外の研究者にも広く利用されているので、人文科学系研究資料のセンター的存在としての役割を果たすようになってきていることがわかる。しかしこの歴史と伝統を維持して発展してきた文学部にも書庫の収容力不足と云う大きな難問題が生じているのである。昭和54年3月末調査によると蔵書583,171冊にたいして書架の収容力は511,694冊で71,477冊分が不足となっている。しかも年間約1万冊ずつ増加している。このため哲学科、文学科の書庫では壁際、通路に書架を増設した結果通行を障害し配架作業にも困難をきたす程の窮状になっている。しかもこれだけの図書を所蔵していてもこれまでに購入しそびれた図書のあることに気がつくことも少くない。また学術情報の溢れている此の頃、研究者は現在の蔵書には決して満足せず絶えず新しい文献を追い求めるのである。そして自然科学系とは異って古い時代の文献も価値が高く、いつまで

も生きて研究に役立つのである。より充実した蔵書構成を必要とする本学部において書庫の窮状を打開すべく数年前から学部増改築委員会、図書委員会等で検討しているがなかなかむつかしい見通しである。

日本の大学図書館の近代化にともなって学術情報システムが確立され、やがて全国的なネットワークの形成される日もそう遠くはないと思われるが、そうなればなおさら本学部図書の利用率はますます増大することになると思う。その際文学部がこのすぐれた蔵書をもとにして人文科学系のセンター的図書館としてその機能を惜しみなく發揮し、より以上に学問と文化の向上に貢献出来るように躍進することを期待している。そのためにも書庫収容力の拡張とともに図書業務の合理的運営の基礎となる哲・史・文三学科総合のいわゆる文学部図書館の実現を切望する次第である。

「京都大学 欧文雑誌総合目録 自然科学編 1979年版」

刊行される

全国の公共的な学術研究機関に所蔵される学術的雑誌の総合目録である「学術雑誌総合目録 自然科学欧文編 1979年版」が文部省の監修の下に機械編集により昨年刊行されたが、標記の目録はこの中の京都大学分を電算機処理によって抽出したものである。

しかし、単に機械的に京都大学分を抽出したのではなく、所蔵箇所については、全国版には部局名しか記載されていないが、京大版では実際に雑誌が配置されている学科・教室図書室名等が記載

されており、詳細な記述となっている。さらに、巻末には、誌名の中の主要な語（キーワード）から雑誌を検索できる「キーワード索引」も付されており、正確な誌名が不明の場合でも、検索の手がかりとなるように考慮されている。

この目録は7年ぶりの改訂版であり、従来の手作業による編集のものと較べて、かなり利用し易くなっているので、学内における学術雑誌の相互利用の道具として、十二分に活用されることが期待される。